

事務局提案	<p>・記念館の管理業務(予算措置等の一般事務)は、市が直営で行います。                  ・記念館の運営は、市民団体、研究者、個人等が「運営協力団体」に参画する形で市と協働で行い、それを母体に協会化を図っていきます。                  ・指定管理している既存施設では、サービスの固定化や団体等の既得権といった問題も出てきています。                  ・協会の運営で、市が予算を含めて協働で行う方法や協会の独立採算で行うといった様々な方法が考えられますが、調査研究や企画事業等の経費については、今後検討していかなければならないと考えています。</p>	
出席者の意見		事務局の考え方
PFIとの関係	<p>PFI事業者の業務内容はどうか。                  公共公益施設全体の中で記念館の運営団体はどのように位置づけられるか。マンション管理組合の組合員のようにハード面の管理運営会議に参加することになるのか。ほかの施設との調整会議にも入るのか。                  他市の施設では無人で、一定時間ごとに警備員が巡回していた。そういうやり方もあると思う。また、PFI事業者の警備の内容がわかれば市民の分担する役割がわかる。市の責任の基準はないのか。</p>	<p>・記念館については、多目的ルームの受付業務を行います。                  ・施設全体業務は、警備、清掃等の施設の一般的な維持管理を行います。                  ・施設の総合案内、駐車駐輪場の管理、飲食コーナーの運営も行います。                  ・運営上必要があれば、会議に参画することもありうると考えています。                  ・他の施設には、直営の図書館や千里出張所、指定管理を活用予定のコミュニティプラザなどがあり、施設ごとに運営形態が異なります。                  ・警備員はいますが、展示品の管理についても運営団体でやりたいということであれば、実施していただくのは差し支えありません。あまり範囲を決めてこれだけすればよい、という形にはしたくないと考えています。</p>
運営協力団体について	<p>ハード面は市が担わないと難しいと思うが、運営に参加する研究者は全国から集まるのではないかと。千里で活動する市民活動団体でも拠点が欲しいところが多いと思う。                  調査研究など、どこまで深みをもってやりたいのか。一過性のイベントであればボランティアでも実施できると思うが継続して研究するなら人材、資金が必要と思う。                  協会というのは第3セクターのようなものを想定しているのか。                  公の信頼性と民の柔軟性をうまくあわせたい、ということだと思うが、メンバー変更の中で当初の理念が失われてしまわないか。特に千里再生室は永遠にあるわけではないと聞いている。そのあたりはどうか。                  運営のあり方を市民に任せるとするのは、いわゆる丸投げで委託する方法とどう違うのか。                  市がスペースを提供し、資料も自由に使って運営団体が自由にアレンジしてほしいということか。                  思いがあっても暇な人しか集まらないのではないかと。記念館の質、持続性を保つには暇な人ではダメだと思う。コアになる人を食わせていけるだけの収益を産み出さないといけないのではないかと。                  運営に従事する人を固定させる必要がある。個人が集まってもルール作りをうまくやらないと誰も従事しなくなる。                  大阪大学や関西大学などの学生を中心にするとおもしろい活動ができると思う。何か形にして公表すれば自治会等の協力も得られるのではないかと。                  自治会として入るのか、個人として入るのか。個人が個人として意見を発言する関係のほうが望ましいと思う。                  各種団体の代表者による構成とすると、他の会議と同じ顔ぶれが集まることが多くなる。実際に活動することも考えれば個人参加が良い。</p>	<p>・同じ公共公益施設内に市民公益活動の拠点施設が開設されます。NPO等の貸事務所はそこで整備する予定です。                  ・千里ニュータウンにかかる活動をする団体が、記念館を拠点として活動、交流していただく場と考えています。                  ・大学の研究者にも意見を聞きましたが、やはり研究予算を心配されていました。どこまで公費負担するのか、研究内容も検討する必要があると考えています。                  ・第3セクターとは考えていません。                  ・運営協力団体に集まっていた人たちの中で、想いを共有しあい、記念館の運営団体を作り上げていければと考えています。                  ・行政の担当者が変更になると関わり方が変わることは考えられます。                  ・理念を継承していくために市民主体の運営団体と共に芯となるものを構築したいと考えております。行政は支援という立場を維持することによって、プレを最小限に止めたいと考えております。                  ・今後、記念館を運営管理する恒常的な部署を決定していく予定です。                  ・市が委託しますと業務内容や仕様を設定して決定していくのが、一般的なパターンで制約が多くなると考えています。                  ・記念館ではそのような枠にはめ込んだ方法は採りたくないと考えています。                  ・記念館の機能である情報発信、資料収集・公開、常設・企画展示、調査研究、交流・ネットワークが達成されれば構わないと考えています。                  ・大学やコンサルなどと協力することも検討してまいります。                  ・コンサル所属の個人の協力を求め、企業の自発的な協力は歓迎します。                  ・収益事業については、ニュータウンツアー又はグッズ販売なども想定できると考えます。                  ・どのような仕組みを作るかこれから練り上げてまいりたいと考えています。                  ・形がないとわかりにくいという意見は理解できます。個人も団体も参加できる仕組みを作り、吹田市民に限らず外国人も含め全国から参加していただきたいと考えています。                  ・いろいろな団体出身の個人が集まり、この記念館運営協力団体の独自色を作っていただきたいと考えています。                  ・運営団体自身で活動できるまで市がサポートをします。                  ・みんなの知恵を出し合えば、限られた空間ですが大きな成果を生み出すこともできるのではないかと期待しております。</p>
その他	<p>浜屋敷はどのように運営しているか。当初は地域活動に興味のある人が集まってきたと聞いている。                  何かモデルになる施設はないか。イメージが浮かばない。                  なぜ記念館が公共公益施設内に設置されたのか。                  千里ニュータウン建設当時のキーマンが高齢になってきているので、個人的に所蔵されている資料が散逸しないかが気かり。                  図書の閲覧も可能になっているが、図書は図書館で扱えばいいのではないかと。</p>	<p>・地域ボランティアを中心に、NPOが指定管理者として運営しています。                  ・人件費も含め運営委託料を市が補助しております。                  ・既存施設の運営体制を検討しましたが、一長一短で全体として手詰まり感があり、記念館では新しい運営形態を検討したいと考えております。                  ・市長が全国のニュータウンをリードする研究、情報発信の拠点づくりの提案をしました。                  ・市民等とのまちづくり懇談会で記念館の設置要望がありました。                  ・豊中市とも連携し、資料を収集しています。                  ・資料の所蔵場所がわかるような情報を発信したいと考えています。                  ・他のセクターとのネットワークづくりにより、情報を集積したいと考えています。</p>